

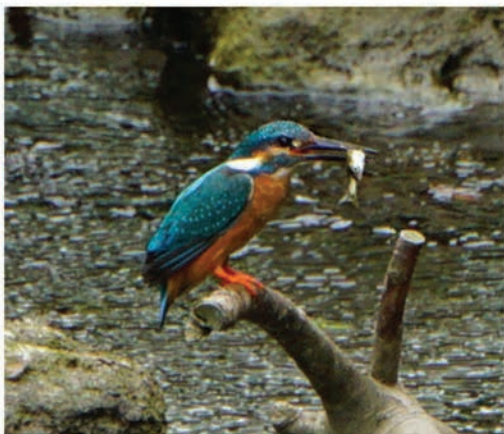
# 清流の息吹を訪ねて 川の人気者 カワセミ

く見るもの全てを魅了する瑠璃色の宝石

このコーナーは、市内山ノ内で釣りに関するアドバイスなどを行う(株)フィッシュナビの代表で、「魚の専門家」の八鳥洋二さんからご寄稿いただいています。

神戸川でアユを観察していると、カワセミにたびたび遭遇します。カワセミは私にとって川のマスコットの存在。今回は、より多くの方に楽しんでもらうために、ちよつとした観察のウラ技もお伝えします。

この時期、神戸川のカワセミ観察の極意は「追い求めるのではなく、引き寄せること」です。これは、大好物であるアユが秋が深まるにつれ産卵のために川を下り、その居場所



アユを捕らえたカワセミ(お見事!)

が限られていくので、アユの動向さえ追えば、カワセミもアユを求めて自然と近寄ってくる、という逆転の発想からきています。

カワセミの豪快なハンティングを目の当たりにした時、その感動は計り知れなく、皆さんにとつてスペシャルな1日になること間違いありません。但し、まばたきは厳禁! ほんの一瞬の出来事です。

ここでトリビアを1つ。近年の新幹線(500系)の先端フォルムは、空気抵抗を極限にまで減らしたスピードを象徴する美しさですが、実はカワセミの嘴くちばしからヒントを得ているそうです。そのマルチな才能と魅力ゆえ、様々な場面で多くの人を虜にしてきたのかもしれない。

そして神戸川のアユ物語もクライマックスへ! 次回はアユとの最後の別れをお送りします。